

平成24年第2回 市議会定例会

一般会計予算 三百億七千万円 可決

平成二十四年第二回市議会定例会(三月定例会)は、去る三月六日(火)から二十二日(木)までの十七日間を会期として開かれました。

本定例会開会中に昨年の東日本大震災から一年を迎えますことから、三月九日の本会議を開会する前に、この大震災により亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、避難生活を余儀なくされている被災地の皆様に平穏な生活が一日も早く訪れますよう、議場で黙とうを捧げました。

審議された案件は、人事議案二件、平成二十四年度一般会計ほか当初予算議案八件、条例関係議案十八件、平成二十三年一般会計ほか補正予算議案五件、那須地区広域行政事務組合にかかる議案二件、指定管理者の指定議案一件、継続審査の陳情一件を含む陳情四件及び議員案五件、合計で四十六件の審議を行いました。

三月議会は、「予算議会」と呼ばれるように、新年度の当初予算を審議するために、本会議での審議のほかに、予算審査特別委員会における審査を行います。本特別委員会は、全議員が一堂に集まり、予算を審査する全体会に加え、常任委員会が所管している事項について、専門的な視点から予算を審査する分科会を設置しております。本議会ではこのような手続きにより、平成二十四年度の一般会計

予算、七つの特別会計予算及び水道事業会計予算について、議論いたしました。

一般会計の当初予算額は、平成二十三年度に引き続き、二年連続増となる本市としては初めての三百億円の三百億七千万円でありました。東日本大震災による影響や慢性化したところあるデフレと円高、雇用情勢の悪化など厳しい社会経済情勢で歳入面への影響がある中、市税収入が減少となりますが、国・県の補助制度を最大限活用した予算となりました。特別会計等の当初予算額を合わせると総額四百七十七億三千八百八十三万六千円の予算に対して、最終日に全会一致で原案のとおり可決されました。

主な議案としては、被災した本庁舎など公共施設の整備に充てるための基金(基金額二億円)を設置するための条例制定、かねだ保育園が民営化されたことに伴う条例の改正などがあります。

一般質問は三日間に十七名の議員が登壇し、財政運営や防災対策など市政全般にわたり活発なやり取りが行われました。

議員案では、東日本大震災の復興のために、平成二十四年四月から一年間、議員の報酬を5%減額するための条例改正議案、議会に新たに特別委員会を設置し、議会改革と災害対策等に向けた、二つの取組みを行っています。

なお、本号から紙面充実に向けた取組みとして、議案に対する表決結果を議員一人ひとり一覧表にしたものを十六、十七ページに掲載いたしました。

平成24年第2回大田原市議会定例会 審議された議案等と結果

Table with 3 columns: 議案番号, 議案件名, 結果. It lists 17 items including committee appointments, budget approvals, and ordinance amendments.